

環境アセスメント学会創立20周年記念誌

環境アセスメント学会 あゆみと展望

2002-2022



2023年3月

環境アセスメント学会

『学会創立 20 周年記念誌』発行にあたってのご挨拶

環境アセスメント学会 会長
藤田 八暉



環境アセスメント学会は、2002年4月20日に設立されましたので、2022年は学会創立20周年という「成人」を迎えた記念の年になりました。本学会は、設立以来、環境アセスメントのあらゆる分野をカバーする学際的な学会として活動を行って参りました。

20周年という節目に当たり、本学会の発足に際して取りまとめられた設立趣意書を読み返してみました。設立趣意書では、学会活動の趣旨・方向性について次のように述べています。

「環境アセスメントが社会の意思決定のツールとして、あるいは環境影響を客観的に見積もるための手段として、制度的にも、技術的にも、さらに継続的な改善が図られる必要があります。このとき、社会の意思決定手段の改善という点では社会科学的な知見が必要であり、一方環境影響を客観的に見積もる手段の改善という点では自然科学的な知見が求められることとなります。このように、環境アセスメントの発展のためには、社会科学と自然科学とを問わず学際的な交流を図り、その研究のレベルを向上させるための場が備えられることが重要です。

また、環境アセスメントは、極めて現実的な課題に対応するためのものであり、研究者の学術・技術水準を高めるだけで機能するというものではありません。環境アセスメントの機能を高めるためには、行政、企業、市民、NGOといった環境アセスメントに関する幅広い関係者が参加し、現実的な課題に基づく議論を活発に行うことが重要であると考えます。このため、インターネットなどを活用し、情報発信、情報交流機能を重視する、新しい時代に即した学会を目指します。」

この設立趣意書で述べていることは、20年を経た今日においても学会活動の基本を指し示す重要な指針であると思います。また、2002年4月に開催した設立総会において学会規約が定められましたが、この規約では、設立趣意書の考えのもとに学会の目的が明定されております。

本学会は、規約に掲げるこの目的を実現するため、創立以来20年にわたり、歴代会長のリーダーシップのもと、役員の実意ある運営と会員各位の積極的な協力により、活発な活動を行ってきたところです。

学会創立20周年という記念の年に当たり、学会では記念特別事業を執り行うこととし、2022年5月に記念式典を会員の皆様、ご来賓の皆様の出席のもとに開催したのをは

はじめとして、2022年度の第21回研究大会を20周年記念事業の一環として9月に開催し、2022年度に発行する学会誌を20周年記念特集号として編纂するなど様々な特別事業を実施しています。

それらの集大成として、20年間の学会活動の成果などを取りまとめた『学会創立20周年記念誌』を発刊することとしました。

本記念誌は、歴代会長のあいさつ、役員経験者及び関係者の寄稿文をはじめ、20年間の学会活動の概要、学会活動の功労者及び歴代役員リスト、20周年記念式典の記録、環境アセスメントの経緯と展望をテーマとした関係者の座談会記録などで構成しています。

歴代会長のあいさつは、各会長が在任中の主な出来事や、学会に馳せる思いについて率直に認められており、会員にとって各会長の学会運営と環境アセスメントに対する思いを知ることができる必読の内容です。また、役員経験者及び関係者の寄稿文では、それぞれの立場で学会活動に関わってきた歩みを知ることができます。

会員の皆様には、これらの著述を収録した本誌を紐解き、学会活動の成果とその成長の歩みを、改めて感じ取っていただければ幸いです。

本学会の重要な責務は、環境保全の基盤的施策としての役割を担う環境アセスメントの意義や役割を深め、システムとして機能するように問題点を解明・改善し、有用な社会制度として定着を図っていくことにあります。

こうした環境アセスメント制度が有効に機能して、広く関係者の意見を反映することにより、環境に配慮した意思決定がなされ、持続可能な社会を実現することができます。

そのためには、環境アセスメントの理論・研究面の探求に加えて、社会制度としての観点から実務上の課題も含めて、なお一層掘り下げていくことが求められています。

学会創立20周年の節目を真に意義あるものにするため、引き続き、これまでの学会活動における成果と課題を検証するとともに、持続可能な社会の実現に向けて、環境アセスメントに係る法制度のレビューと、環境アセスメントの新たな展開について考究し、学会が取り組むべき新機軸を打ち出したいと考えております。

これまでの20年間は学会の基盤の形成期であるとすれば、これからの10年さらに20年は、学会飛躍の時期とするべく、学会活動をさらに進展させるため、引き続き会員皆様の積極的な参加と活動を期待しますとともに、改めて関係各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本記念誌の編纂は、学会創立20周年記念事業特別委員会のご尽力と会員各位のご協力のもとに取りまとめられたことについて、改めて感謝の意を申し添えます。

目 次

第 1 章 学会活動の振り返りと期待－歴代会長等の寄稿－	
歴代会長挨拶	3
役員経験者等の寄稿.....	15
会員寄稿	35
第 2 章 学会活動の 20 年	
学会事業年表	45
主な学会活動の紹介.....	75
学会活動 20 年の概要.....	93
第 3 章 学会の活動の功労者等	
功労者等の表彰リスト.....	103
歴代役員・評議員リスト	107
第 4 章 20 周年記念式典の記録	
環境アセスメント学会創立 20 周年記念式典	121
第 5 章 環境アセスメントの経緯と展望	
これまでの環境アセスメント制度を振り返る	153
環境影響評価法の今後の展開－法改正に向けて	159
資料編	
環境アセスメント学会の概要	169
学会活動 20 年の概要（英文）	170
学会創立 20 周年記念事業特別委員会 委員構成.....	176